

令和6年度 こばとこども園 教育活動等に対する学校評価

令和7年2月28日

1 こども園教育目標 …

明るく素直な子

思いやりのある子
進んで遊ぶ子
考えて遊ぶ子

2 本年度の重点目標 …

笑顔あふれる安心の基地

※評価点 4(十分に成果があった、十分にできた) 3(成果があった、できた) 2(少し成果があった、すこしできた) 1(成果がなかった、できなかった)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員 御意見
		R4	R5	R6	
1教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3.2	3.2	3.2	・理解している。教育目標、重点目標の理解と推進に努めた。 ・明るく素直な子を意識し保育しています。 ・主体性を育む保育が出来ているのかと悩むことが増え、園の教育方針が合っているのかどうかわからなくなってきた。
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	3.1	3.1	3.1	・教育保育要領は研修の際などには目を通すが、日々の保育の中でも活用できる内容なので意識的に目を通すようにしていきたい。 ・理解には努めているが、今年研修を受け、再確認が必要と思った。 ・今後も努めていきたい。主体性とは何かについて常に悩んでいる。
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	3.3	3.2	3.3	・園で立てているねらい+今の子どもの姿をみて計画している。 ・乳幼児は三つの視点、五領域また幼児期が終わるまでに育てたい10の姿を計画や研修に入れている ・架け橋プログラムで新年間計画ができ、11月以降はそれに基づき立てている。
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	3.4	3.4	3.5	・一人一人の生活経験(環境)の違いや特性や発達段階をみて経過記録をつけ、歳児ごとの計画をしている。 ・担任の先生が作成している計画を講師にも共有してくれているので同じ方向性で行っていていると思う。
	⑤こどもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	3.4	3.4	3.1	・子どもの自分でやりたい気持ちを手助けできるよう心がけている。 ・子どもの成長や思いに合わせて、遊ぶ玩具ややりたい事が出来るように、クラスの担任と話し合う事が必要と感じた。 ・環境構成はできたと思うがその時の状況で我慢させてしまったこともあった。
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との連携・接続(架け橋カリキュラム等)を意識している	3.1	3	2.9	・新しい架け橋カリキュラムや小中学校との研修も何回か受けることができ、小学校の先生と話す機会もありよかった。 ・小中学校の参観・研修に参加し、連携や接続の大切さを感じた。 ・研修時に10の姿で振り返るが、普段はあまり意識できていない。
2保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、こどもの体調が悪くないか確かめている	3.6	3.7	3.6	・登園後の検温だけでなく顔や表情、機嫌等を見て確かめている。 ・視診触診を大切に、個々に触れ、保育者間で体調を確認し合っている。 ・毎日の検温と視診をしているが、感染が広まることも多いので、家庭内でも体調不良や症状がある時は、受診等の対策をして欲しい。
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	3.5	3.5	3.4	・先生に言えない子も中に入るので、子どもの気持ちを汲み取ることに意識して声掛けを行ってきた。 ・集団生活の中でもできる限りその子の思いを受け止めて支援したいと思うが、担任の気持ちもあるのでなかなか難しい時もあった。
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、こどもの自主性・自発性を大切にしている	3.2	3.2	3.2	・子どもたちの好きな遊びを思い切り楽しめるようにしたいという思いはあるが、実際は活動や行事に追われてしまう。もう少し遊び込める時間を作りたい。 ・行事が続くと中々時間が取れず思う存分遊びこむことが難しい。

評価対象	評価項目	自己評価				学校関係者評価委員 御意見
		R4	R5	R6		
2保育の 在り方・ 子ども への対応	④行事や活動を通して、 こども同士のかかわりや 異年齢児との交流を大 切にしている	3.3	3.4	3.3	・異年齢の交流はありますが、すすくとわくわくでの交流が 少なく感じます。もう少し交流の場があればいいです。 ・すすく部の中ではよく交流をおこなうが、わくわく部との 交流はあまりない。 ・夏祭り、ハロウィンでの交流が楽しかった。	・支援は特別な子だけでなくすべての の子どもにも必要であり、一人一人の 子どもを理解し個に応じた保育を行 うことはその子の存在を大切にす るという視点から大切なことだと思 う。 そのためには全職員が情報を共有 し、共通理解に立って一人一人の子 どもに接することが必要だと思う。研 修の機会を通して子ども観を磨いて ほしい。時には発達について知見の ある方を招いて研修することも良い と思います。 ・職員同志が直接伝えることは難 しい面があるかもしれない。園の中 に相談できる人・場があると良いか もしれません。 ・不適切な保育になっていないか考 えすぎても先生たちのストレスにも 繋がってきってしまうと思います。そ ういうことを考えられる方は不適切な 保育をしていないと思いますので悩 みすぎないでほしいです。
	⑤教職員全員が、全園 児について理解していく ように工夫や努力をして いる	3.2	3.1	3.1	・職員会議のケース会議などで困り感を共有出来たことはよ かった ・午後の時間等も使い、学年間にはよく話ができています。しか し、他学年や部外になるとわからない。 ・部が違うとなかなか難しい	
	⑥支援の必要な園児の 教育・保育について、定 期的に話し合う機会を 設け、個に応じた個別の 支援計画を立てている	3.3	3.0	3.1	・保育終了後に、学年間わずコミュニケーションを取り話し 合ったり、ケース会議を設けたりしている。 ・個に応じて支援してきたが、定期的に話し合いはできてい なかった。	
	⑦不適切な保育とならな いように、定期的に チェックや話し合う機会 を設け、こどもの最善の 利益を尊重した教育・保 育に努めている		3.2	3.2	・思いがあってやっていることでも、人から見たらそう見えて しまうことがあるかもしれないので気をつけたい。 ・職員同士で保育の仕方を確認して話し合っています。 ・これだと不適切だよな…という意識をしている。次はこうい う対応しようと話し合うこともあった。	
3教職員 としての 能力や 良識・適 正	①教職員としての話す 力や聞く力の向上を意 識している	3.1	3	3.1	・コミュニケーションはすべての土台だと思うのでこれからも 向上を意識していきます。 ・意識はしているが、向上しているかの自信はない。話す機 会もありないので、低下している気がする。聞く力をもっ つけない。	・保護者とのコミュニケーションを積 極艇に取っていると感じる。 ・負担が一人の先生に偏らないよ うにしていきたい。 ・子どもや保護者のフォローも大切 かもしれませんが、職員の心身のケ アも同じかそれ以上に大切だと思 います。 ・仕事の中だけに埋没しないで、本 を読んだり、映画を見たり、旅行を するなどして自己を豊かにしていく 機会を作ってください。 ・教職員が子どもの成長を見取り喜 ぶことができることは、保護者も願 っていることだと思います。 ・徒歩通園の時より担任の先生へ直 接引き渡すので、R5の時より上手 くコミュニケーションがとれている と感じます。また先生同士のコミュ ニケーションも上手くとれているよ うに見えます。 ・毎日お仕事を忙しくされてると思 われますが、園行事で触れたことを 中心に季節の変化などにも興味を持 ってほしいです。 ・日タトレニングだと思います。 ・温かく子どもの成長を見守ってくだ さい。 ・忙しさに忘れがちな自身への謙 虚な振り返りが、子どもたちの生き 生きとした姿や保護者の安心に繋が っている。 ・先生方がゆとりを持って子ども たちと接することができるよう先 生方の人数の増加もお願いしたい。
	②こどもや、保護者との 対応には、公平さを欠か ないように平等に接し ている	3.6	3.5	3.5	・誰にたいしても公平に接するように心がけています。 ・あいさつや子どもの頑張った事など伝えるようにしている ・なるべく平等に接するようにしているが、苦手な保護者へは ぎこちなくなってしまうと思う。	
	③自らの健康に配慮し、 爪が伸びていないか等、 保育上での安全性にも 気をつけている	3.7	3.6	3.6	・安全面に気をつけ、配慮するようにしている ・身だしなみには特に気をつけた。 ・体調管理や衛生に気を付けています。 ・今後も意識して努めていきたい	
	④教職員同士のコミュ ニケーションを円滑にし、 片寄った人間関係を作 らないようにしている	3.2	3.2	3.2	・やはりどうしても話しやすい先生、緊張してしまう先生が いる。 ・どの先生とも話すようにしている。 ・片寄らないようにしているが、同じような立場や経験年数 の職員に相談等をしやすいのも事実。	
	⑤こどものささやかな成 長を見取り、それを喜ぶ ことができる	3.8	3.8	3.9	・大変な毎日だが、できるようになった瞬間に立ち会えるの は嬉しい。 ・こどもの成長を喜び、その都度保育者間でも共有している ・担任だけでなく、関わってくれる教職員の方々と共有して います。	
	⑥園のこどものことだけ でなく、自然や社会の出 来事にも興味がある	3.1	3.1	2.9	・自然への興味はあるが、社会があまり理解出来ていない。 ・自分の興味あるものに片寄るのもっと世間の動向に目を 向けたいです。 ・毎日ニュースをチェックするように心がけている。	

評価対象	評価項目	自己評価				学校関係者評価委員
		R4	R5	R6		御意見
4保護者への対応	①こどもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	3.5	3.5	3.4	・なかなか会えない保護者の方もいるので、電話で伝えたり少しの怪我やトラブルでも必要に応じては電話で伝えるようにしている ・なるべく連絡帳ではなく、電話や口頭で伝えるようにしている。 ・こまめに声をかけるよう意識した	・先生方の努力が伝わってきます。 ・送迎時の限られた時間で一人一人に話をするのは難しいと思う。 ・理不尽な要求をしてくる保護者はいませんか。保護者対応は難しい面があると思います。一人で抱え込まないでください。 ・各項目点数が上がっていて先生方の努力や意識の高さを感じます。個別登園をして話す機会が増えたのでより気をつけているのだと思います。 ・子どもたち以上に保護者の方々とのお話や相談事には気を遣うかと思いますが、一番大変なことでしょう。 ・対話・コミュニケーションはすべての人間関係にとって必要。互いの問題を対話することで解決できる。 ・子ども以上に対応には配慮が必要。多くの保護者とのやりとりの中で自身のコミュニケーション能力を高めてほしいと思う。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3.4	3.3	3.2	・きちんとした言葉遣いを意識している。 ・相手のお話を最後まで傾聴し寄り添うことを心がけています。 ・対応は難しいが、丁寧に対応するよう心がけている ・今後も意識して努めていきたい	
	③園児や保護者の個人情報管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	3.8	3.9	3.8	・個人情報を噂話の段階で口にしてしまうこともあったと思います。安易に噂話をしないよう呼びかける必要もあると思います。 ・徹底したい ・管理している。	
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	3.7	3.6	3.6	・どんな小さなことでも主任、主幹、担当の先生には伝えるようにしている ・連絡帳を主幹、副園長に確認してもらい、内容については確実に確認してもらっている。返信内容や伝える内容についても相談して返している。 ・必ず主幹に報告するようにしている。	
5地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	2.8	2.8	2.8	・突然問いかげられると言えないかもしれない。改めて確認していきたい。 ・相手に伝わるように説明できる自信がないため、理解に努めます。 ・担当の係として、ちゃんと伝えられるようにしている。	・評価点が低いので、①については3点を超えるようになってほしい。 ・青中学区は挨拶に力を入れています。家庭内地域内で挨拶の輪が広がってくれることを望んでいます。それが望ましい子どもの成長に繋がると 생각합니다。 ・地域のことを詳しく知っている方を講師に呼んでみるのはどうでしょう。 ・卒園後、青島小学校に通学する園児がほとんどなので、まずは青島学区を勉強してみたいと思います。 ・瀬戸新屋町内会として運動会に参加していただいています。 ・毎年の課題であるので、もう少し地域との関わりを持ちたい。 ・先生方の地域を知る研修がスタートだと思う。
	②こどもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	2.6	2.7	2.6	・地域の施設や機関についてまだまだ勉強不足と自分で感じる。 ・散歩とかで地域の施設を利用することがある為、理解が深まった。 ・次々と出てくる新しいことやものに対応できるようにこちらも勉強していくことだと思います。	
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2.6	2.7	2.6	・保護者の負担を考えたらこども園という支援の場を活用して欲しいと思うが、職員として考えると負担ばかりが大きくなっているように感じる。保護者が休みの日でも遅くまで預かったり、体調が悪くても迎えを無理には呼べなかったり、子どもにとっても負担になっているように思う。バランスが難しく感じる。	
6安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	3.6	3.5	3.5	・安全に生活ができるように常に振り返り、改善するようにしている ・エルガナでの共有が写真付きでわかりやすいです。 ・2度目はないように職員が近くにいたり、事前に対策している。 ・共有し次に繋げている	・安全への意識は高いと感じる。 ・引き続き点呼や遅刻早退の確認は確実に行ってほしいと思います。いつもありがとうございます。 ・常に安心安全のために気配り目配りを心掛けてほしいです。 ・バスの置き去り事件の後から、保護者としては点呼がちゃんとされているかがとても気になっています。パステルのデジタルに頼りすぎず自分の目を信じて行ってほしいです。 ・安全はすべてに優先する取り組みが大切だと思います。 ・事故、事件、災害と細部にわたっての対応に努めていることに感謝。 ・小さな子どもたちが対象であることに想像力を駆使して万全な対応を今後もお願いしたい。
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	3.3	3.4	3.6	・ケガが多くなっていると思います。小さなことでもすぐに対策していくことだと思います。 ・毎回丁寧にできた。・訓練は毎月、計画的にできたと思う。振り返りも丁寧に行え、次回にも繋がっている。	
	③健康で安全な生活を守り育てるために、感染症対策等に自ら取り組み、こどもや家庭への啓発に努めている	3.4	3.5	3.5	・配信の回数を増やすなど、努めている ・手洗い、うがいなどできることは伝えている。 ・伝えているが、効果はない。 ・家庭への啓発ができていないかもしれない。	
	④閉じ込め・置き去り・取り残などないように状況に応じ、点呼や人数確認を確実にやっている	3.8	3.8	3.6	・思い込みや勘違いということも起こり得るので、二重三重のチェックが大切だと感じている。 ・戸外に出た時は特に把握していけるように、広範囲に目を配るように意識しています。	

評価対象	評価項目	自己評価				学校関係者評価委員 御意見
		R4	R5	R6		
7研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	3.0	2.9	3.1	・自分に必要な研修には前向きに参加していきたい。 ・研修に参加する機会が少ないので参加してみたい気持ちがある。 ・知識をつけてもそれを実践できる環境や時間、余裕が無い ・今年もたくさんの研修に参加できた	・自宅へ持ち帰っての仕事がなくなるよう一人への負担が大きくならないようにしてほしい。余裕のない中では研修も研究も難しいと感じる。 ・プロの保育者であるという自覚と責任が求められると思います。忙しい毎日だと思います。時間がなかなか取れないと思いますが、自己研鑽に努力してください。 ・ICT機器については使いやすい環境を整えてください。 ・向上心のある先生が多い印象です。一方で持ち帰り仕事がある先生がいるのも問題だと思います。業務の分散やシェアをして少しでも一人当たりの業務量を均一にできないでしょうか。持ち帰り仕事をしている先生のメンタルが心配です。時間が取れない中、研修、研究は難しいと思いますが、ICTツールなど利用して効率よく研修できれば良い。 ・勤務形態が様々な職員集団の中で、どのようにして共通理解を深めていくかが課題でしょうか。 ・小学校との連携が深まり連続した育ちが期待できる。 ・ICT教育充実、働き方改革の推進のためにも機器の充実に尽力を願う。
	②日々の実践を見合い、検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	3.1	3.2	3.1	・子どもへの接し方は日々勉強です。先生方の接し方や言葉掛けが自分とどう違うか振り返るようにしています。 ・保育の準備等に追われてできていない日もある。 ・保健部会等でも共有できた	
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	3.1	3.1	3.2	・話を親身になって聞いてくれる先輩方がいるのでありがたいです。ありがとうございます。 ・相談しやすい環境だと感じる ・上司に相談できている。	
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	2.8	2.8	2.8	・地域の方との交流を大切にしています。 ・なかなか出来ていない ・好きな事でのボランティアをした。 ・趣味はあまり持っていない。	
	⑤パソコンやタブレット・スマートフォンなどのICT機器を前向きに活用し、教育・保育の充実に努めている	3.0	2.9	2.8	・出来ることも増えている ・活用しているが、苦手。 ・苦手ではあるが必要なことは詳しい職員に教えてもらい覚えるようにしている。	

<こども園の教育・保育をより充実していくための提言> 充実・改善事項、厳選・削減事項など御意見をお聞かせください。	
・年度初めに個々の職員に、それぞれの項目について年度の努力目標を決定してもらい、年度末に振り替える機会をもったらどうでしょう？	